

速次刊行物

1,240円

婦人教育会館
人権啓発センター

エッ？

あの田中美津と

「リリースの足」を長崎にゆんだの。

あなたの心とからだをリラックス！

— 今年の冬「ばってん・うーまんの会」がお届けする劇とお話 —

【劇】「家族におけるフィールドワーク」

by 劇団「リリすの足」

女ならではの悔しさ・怒りを共感
今人気のフェミニズム演劇



【お話】「自分で作る気持ちいい心とからだ」

by 田中 美津

70年代ウーマン・リブで活躍。

現在は鍼灸師、そしてイメージトレーニング・インストラクター
(朝日カルチャーセンター講師)。

「自分を好きになる」、「生きてることが楽しくなる」

これが「解放なのよ」と説く魅力の人。

日時：1996年12月6日(金)

開場 18:00 ~

開演 18:30 ~

場所：N1B出島ホール

出島町11-1 NTTウラ TEL 26-2266

主催：ばってん・うーまんの会

津田尚美方 TEL

前売券

1,000円

当日券

1,200円

「女のノート・3年」という日記帳を、3年に1冊発行している利潤で、今回は、上記の事業を致します。ばってん・うーまん会が企画する会は、99%のではありません。くわしくは、新聞・テレビ・公的会報に！！



70年代初頭のウーマン・リブ運動に生きたあと、メキシコに渡る。帰国後、東洋鍼灸専門学校に入学。現在、本郷赤門前で治療所「れはるせ」を主宰。イメージトレーニングのインストラクターとしても活躍中。

秋はアレルギーの季節

著書に「いのちの女たちへ」「冷え症」が治ったら、
—とりしなウーマンリブ論—「アトピー」が治った！
(河出文庫) などがある。



紹介します

田中美津さん
リリスの足



芝居のけいこに熱が入る竹森さん(左)と高橋さん

「フェミニズム演劇」が人気

エンターテインメント以上の役割担う

ファンは30-40代が中心

女性2人の劇団「リリスの足」

そんなエールを女性たちに送り続けたい。

「リリス」と同じように

はだしでしっかり立ちまわ

経験を持つ、リリスさん

アメリカでも多数の舞臺

何かが根拠のない自信の

ようなもの……

たいていの男にあるじゃない

無言の圧力みたいなものを感

彼は、そんなことしないのに

を入れて、ごめんねと謝る

「私は帰りが遅くなる時、彼にTEL

劇団1996年度活動予定

2月 千代田区フォーラにて「家族におけるフィー

3月 大阪府岸和田市立女性センターにて「リリス

3月 浦和市内で「24.5のブルース」上演予定

9月には新作を上演の予定ですが、4作目はどんな

乞うご期待!!

どんどん採用・起用してほしい女の力。
— 男性と同じ力を持っています。 —

そして、今度、—

よかった! 実った! わたし達の

要望……人権の立場からの要望です!

ばってん・うーまん
DAITEN・u-man

1996年2月 NO.167

<事務局>

津田尚美方

Tel

<編集> 門 更月

要望します!

1996年2月28日

長崎県警察本部本部長様

ばってん・うーまんの会

看守職への女性採用についての要望書

標記の件について 昨年10月長崎署で看守が拘置中の女性にたいし、胸を触る猥褻行為をし、諭旨免職処分になりました。

私たちはこの事態を重視し2月4日事情を聞きに長崎県警察本部を訪問しました。

その際話の中で女性の看守が一人もないという事を聞き、まさに起こるべくして起こった事件だとの感を強くしました。看守は二人で勤務に就くとの事ですが、内一人が女性だったらこのような猥褻な行為はなかったと私たちは考えます。

このような事が二度と起こらないように看守の一人はぜひ女性にしてほしいと思います。そのために女性看守の採用、配置を強く要望します。

なお女性の刑事、警察官も男性の数に比して、とりわけ低すぎます。男女雇用機会均等法の精神からも、もっと女性の採用に力を入れるべきだと考えます。

以上要望いたします。

性犯罪捜査に闘志

県警が婦警 14人を指定
「被害者の立場で」

県警は、婦警十四人を性犯罪の捜査などに当たる婦人警察官指定捜査員に指定し三日、県警本部で指定書を交付した。

基つき準備。要綱などを決め、県内の七十五人の婦警の中から選定を進めてきた。十四人は現在、県警や長崎、佐世保など各署の刑事、生活安全対策課などに所



佐藤刑事部長から交付書を受け取る中野巡査部長
＝県警本部＝

属。婦女暴行や強制わいせつなど性犯罪が起きた際に、女性被害者への事情聴取などの捜査に当たる。このほか、日常業務のかたわら、捜査第一課内の刑事指導室で、犯罪立証のポイントや調査の書き方などの基本を学ぶ。十四人のうち二人は県警が今年から導入した国際捜査官（英語、中国語）で、外国人の被害者にも対応する。

交付式には、県警幹部ら約二十五人が出席。佐藤尚義・刑事部長が中野章子巡査部長（三）に捜査第一課国際捜査官に指定書を手渡した。中野巡査部長は「同じ女性として、被害者の立場になって捜査していきたい」と話していた。

県警捜査第一課によると、県内では、八月末までに婦女暴行・強制わいせつ三十二件、公然わいせつ三十七件を摘発している。

女性への性犯罪に対応

婦人指定捜査員 14人が初の誕生

女性が被害者となる性犯罪を捜査する県内で初めての婦人指定捜査員の交付式が三日、県警本部であった。

今回指定されたのは二十一歳から四十八歳の婦人警察官ら十四人で、女性に対する犯罪増加に伴い同性の捜査員の必要性が生じたという。うち、英語や中国語が堪能な国際捜査員二人は外国人被害者にも取り組む。

中野章子巡査部長は「これまで男性の警察官には言えなかったこともある同じ女性としてアフタケアをしたい」と抱負を語った。

「これまでの女たちが、男性の警察官の興味本位のきき方に対して、どれ程の屈辱を味わってきたかをわかってほしいと思う。」